

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和7年12月1日				
事業所名		公表日 令和7年12月1日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0		運動活動時には内容によってはスペースが狭いと感じることがよくあるため、安全を配慮し空間を確保した支援の検討をしていきます
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	職員の支援姿勢や支援方法に配慮しながら支援しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	障がいの特性に合わせて、日常生活動作が行いやすいように環境に配慮しています。	児童が使用するトイレの大きさや洗面台の高さなど、身体の大きさに適合していない場所もあります。バリアフリー化、構造化された環境づくりへは、さらに検討を要します。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	安心、安全に過ごせるように清潔を保っています。また、子どもが安心して過ごせる場所づくりも常に検討しています。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	児童から要望があった際や、カムダウンを必要とする際には別の部屋を設けています。	場合によっては個別対応ができない日もありますが、個別活動時には衝立を利用し空間を仕切ったり、別の部屋を使っています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	短時間でも振り返りができる時間を設けています。	職員全員が広く参画することが出来難い時もあります。情報共有の方法の検討をしていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	保護者向けの事業所評価を実施しています。評価表以外でも、要望を聞き、対応しています。	保護者からのご意向や要望を反映し、改善に努めています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	職員間での情報共有、意見交換に努めています。	情報共有と業務改善に時間を要することもあります。多様な意見をまとめ、改善に努めていきます。また、情報共有方法についても検討をしていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	5	外部評価を行っていませんが、自己評価として振り返り、業務改善につなげています。	第三者評価を行っていません。必要があれば検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	必要な研修を園内でを行っています。外部研修に参加した職員が、伝達講習も行っています。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	支援プログラムをホームページにて公表しています。	支援プログラムの見直し、公表方法の検討をしていきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	モニタリングの時期に保護者に要望書を配布したり、面談の機会を設け、ニーズの把握に努めています。	アセスメントのツールを検討していく必要があります。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	モニタリング会議、ケア会議を設け、共通理解をして子どもの支援を行っています。子どもへの最善の利益とは何かを常に意識して支援をしています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	職員間での共有を図り、計画に沿った支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	行動観察の記録を行っています。アセスメントでは、児童の様子観察したものから発達段階を把握しています。	標準化されたツールやアセスメントの活用について、検討していきます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	ガイドラインに沿った支援内容を大項目に記載し、具体的な支援内容や方法を記載しています。また、移行支援や地域連携についても子どものライフステージに合わせて支援し記載しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	活動内容をミーティングにて立案しています。	

支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	その日の利用児童の状況や体調に合わせて、運動遊びや制作活動を組み合わせて立案しています。	同じ活動を繰り返した際には、振り返しを行い、目的・目標などに合わせて内容を変化させていく支援の検討が必要です。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	個別活動が必要な場合には、対応しています。	個別活動を十分に確保できないことが課題です。今後、個別活動について検討し支援を行います。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	可能な限り活動内容について話し合い情報共有に努めています。	話し合いの時間が十分に作れない日もあります。日々のスタッフの配置の調整、役割分担の検討が必要です。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	その日の振り返りはできていませんが、翌日には短時間でも振り返りを行い、情報共有して支援を行っています。	情報共有に時間を要することがあります。タイムリーに共有できる方法の検討をしています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	日々の記録をとっています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	定期的にモニタリング会議、ケア会議を行っています。日々の子どもの様子を丁寧に見て、支援につなげています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	0	4つの基本活動を組み合わせています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	具体物やカード、写真を提示して、選択機会や表出機会を設けて支援しています。自己決定する力に必要な「見る」「聞く」力、「見通しを持ちやすい」「安心して過ごせる」環境に配慮しています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	スタッフ間で検討、共有した情報を用いて参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	必要がある際には関係機関と連絡共有し、連携を図っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	学校と随時情報共有し、調整を行っています。下校時刻の確認だけでなく、行事予定に合わせて行動する子どもの様子にも配慮し、情報共有に努めています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1	移行支援会議等を通して情報共有を図っています。	会議だけでなく、子どもの様子を見学するなどの、情報共有機会をさらに検討していく必要があります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0	情報提供書を作成し、情報共有を図っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	1		スーパーバイズや助言を受ける機会について、検討していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	6		地域の他の子どもとの活動機会は設けていません。要望があれば交流の機会を検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	1	児童発達支援管理責任者が参加しています。会議の場で伝達を行っています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	連絡ノートや送迎の時間を活用し、共通理解を図っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	年齢に応じてペアレントトレーニングを行っています。	要望があれば、保護者が参加できる研修機会を設け、検討していきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		支援プログラムについて、丁寧に説明を行っていきたいと思います。説明のためのツール、時間などの検討をしています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	面談の時間を設け、保護者の意向を確認しています。また、子どもの様子を丁寧に見守りながら支援し、意向確認をしています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	支援内容を説明し、承諾を得ています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	随時受け付けています。相談があった際には、保護者から話を聞く機会を作っています。	相談や面談について、相談しやすい環境に配慮していきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	4		現在、保護者会や交流会の機会を設けておりません。要望がありましたら、保護者交流会や夏祭りなどの検討をしていきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	苦情解決委員会が設置されています。	苦情があった場合には真摯に受け止め、丁寧に迅速に対応していきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	定期的にさざなみ学園の広報誌を発行しています。	活動概要や行事予定等の案内が不足していますので、情報発信、連絡体制について検討をしていきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	個人情報の保護には職員間で努めて留意しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	意思表出機会を作ったり、視覚支援やコミュニケーションツールを活用しながら支援を行っています。	子どもへの支援、保護者支援については職員間で検討を重ねながら、配慮できるように行っています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3	地域開放において、体育館とプールの開放を行っています。絵本の読み聞かせボランティアの方にも協力頂いています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		職員への周知はしていますが、保護者への周知は不十分であるため、定期的にお知らせするなどの検討をしていきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	防災訓練を定期的に実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	服薬状況を職員間で情報共有しています。発作の対応においても状況確認を行い、マニュアルを作成しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	アレルギーの有無の確認を保護者に行っています。食事支援の際には食材の確認を行って提供しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	物や玩具、建物などの環境チェックをして安全管理を行っています。	安全計画は作成されています。研修や訓練の時間を積極的に作り、安全管理に努めていきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		児童の安全確保のための保護者との連携が不足しています。定期的にお知らせができるように検討をしていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	ヒヤリハットの情報共有を図り、事故防止に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	研修を行い、子どもの権利擁護・虐待防止に努めています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	非常や緊急時などの身体拘束について、個別支援計画書に記載しています。	